

事務事業名 **さんぶの森元気館管理運営事業**

政策:04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策:03 健康づくりの推進

部名:保健福祉部

基本事業:01 健康づくり活動の推進

課名:健康支援課

計画年度	平成16年度 ~ 平成21年度		事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
山武市さんぶの森元気館			施設を円滑に運営するために、一部業務を民間事業者へ業務委託を行う。 <委託業務内容> 設備の運転点検管理業務 ・日常点検及び運転管理, 定期点検, 維持補修, 日常清掃, 定期清掃, 植栽管理, 屋外清掃 ・21年度に、25mプールのろ過材の交換を9月実施 <その他業務> 施設を安全かつ安心して利用できるよう設備, 備品等を良好な状態に保てるよう管理する。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）							
適正な管理を行い、施設が安全・確実に利用されます。							
4 活動指標・成果指標・事業費の推移							
区分	指標名称		単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	開館日数		日	303	302	-	-
活動指標	点検実施日数		日	364	364	-	-
成果指標	設備不具合の事由による臨時休館日		日	0	0	-	-
成果指標							
事業費			千円	80,045	80,011	0	
うち一般財源			千円	35,450	34,272	0	
5 目的妥当性							
法定受託事業である（根拠法令） 妥当である 妥当性が低い			市民の自主的な健康づくり事業を展開する施設として利用環境を整えるもので、妥当である。				
6 上位の基本事業への貢献度							
貢献度大きい（理由） 貢献度ふつう（理由） 貢献度小さい（理由） 基礎的事務事業			元気館の継続的な利用により医療費削減効果が期待できる。				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討							
対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる 対象や意図の見直しはできない その他			施設が故障無く稼動することが目標となっているため、対象や意図の見直しは出来ない。				
8 有効性（成果状況）							
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない			オープンから5年を経過し施設・設備の維持補修に係る費用が増加傾向。日常点検や定期点検等により故障の早期発見による早めの補修を行ない費用削減・安全確保を図る。				
9 有効性（成果向上余地）							
成果向上余地・大 成果向上余地・中 成果向上余地・小・無し							
10 事業の再編成							
類似の事業があり、再編成できる 類似の事業はあるが、再編成できない 類似の事業はない			蓮沼保健センターに一部類似（トレーニングジム）の設備があるが、地域が異なるため、即座に再編成はできない。				
11 効率性（コスト削減の方法）							
ある ない			使用料の見直し等による受益者負担の再検討 指定管理者制度導入				